

レブングル自然情報

ホームページからカラー版自然情報を

「くるくるレブングル」<http://www11.ocn.ne.jp/~rebuncle/index.html>

初冬の礼文島を歩く

11月7日朝、道路には初氷が見られ、9日の朝には雪が積もっていました。その雪は午前中には融けてしまいましたが、町では車のタイヤ交換をする人々の姿が見られました。13日の朝には少し多めに住宅の屋根が白くなっていました。気温も今冬初めての氷点下を記録、日中になっても桃岩登山道には雪が残っていました。そんな雪道に足跡をつけて草木の様子を見つめて歩きました。立ち枯れた大きなエゾニュウの上には雪が積もって、また花を咲かせたみたいです。イケマの実が弾け割れ目から綿毛をつけた種が吹き出しています。プロペラをつけた実がまだ枝にぶら下がっているイタヤカエデ、ドライフラワーになったツルアジサイの花の中央には太めの冬芽が見られました。中には初めて見る姿も出てきます。そんなときは「この赤い芽は何の冬芽かな？ああそうだここには春にトガスグリの花が咲いていたんだ」などと想像力を湧かせて答えを解いていきます。



ツルアジサイ(蔓紫陽花)ユキノシタ科アジサイ属

トドマツやイタヤカエデの間を小鳥が飛びます。じっと目を凝らして止まった先に双眼鏡を向けると、シメが数羽トドマツの枝で何かを食べているようすです。この日はゴジュウカラ、ヒガラ、アカゲラ、ツグミも見られました。

↑レブングルのホームページ出来ました。

今年6月から上記アドレスで毎週デジカメで撮影したの礼文の様子を流しています。掲示板にあなたの礼文情報や聞きたいことなど記入して下さい。



コミミズク(小木菟)フクロウ科

2003年11月11日 知床の北野信次郎君が畑でカラスにいじめられているところを保護してつれてかえりました。右肩が折れていて、右目や体中に突かれた後があり、かなり悪い状態でした。オリゴ糖を入れたスペシャルドリンクをのどに流し込んでやるとかろうじて立ち上がれるようになりました。何度か飲み物を与え回復を待ちましたが、翌朝死んでしまいました。残念です。

コミミズクは1998年10月に手前で保護されたことがあります。その際は翌朝元気に飛び立ちました。フクロウの間ではこの他にコノハズク、オオコノハズクの保護をしたことがあります。またシマフクロウ、シロフクロウ、エゾフクロウ、トラフズクの見撃記録があります。特に冬はシロフクロウの時期です。目撃情報待ってます。

保護した鳥、拾った鳥の死体、珍しい魚や虫の情報、庭に咲いた花情報など連絡下さい、待っています。

今号から、この10年あまりの間に確認した植物を
少しずつご紹介していきたいと思ひます。

礼文島の植物1

・マツ科/松科 PINACEAE 4属6種

トドマツ 榎松 *Abies sachalinensis* モミ属
北海道を代表する針葉樹で、低地から高地までま
で広く分布、礼文島では全島に分布しています。
アイヌ語「トトロップ」の転訛で漢字の「榎」は枝
が毎年1段づつ輪生するから使われたと思われま
す。トドマツの寿命は230年位。知床と香深井には
かなり太い木があり樹齢を知りたいものです。
アカトドマツとアオトドマツと分類を分ける見解が
あり、礼文島では両方記録があります。

エゾマツ 蝦夷松 *Picea jezoensis* トウヒ属
「北海道の木」として代表的な木ですが礼文島で
は内路川の上流と三角山の下にわずかに自生してま
す。寿命は400年位。別名クロエゾマツ

アカエゾマツ 赤蝦夷松 *Picea glehnii* Masters
トウヒ属 利尻島には自生地がありますが礼文島
に自生は無く、全て植樹したものです。環境が厳し
いところでも育つ木で、知床から大沢川まで広い範
囲で植樹され定着しています。

ハイマツ 這い松 *Pinus pumila* マツ属
高山帯を代表する木ですが礼文島西海岸では標高
が100m位のところでも自生しています。利尻山に
五葉の坂と呼ばれる場所がありますが、葉が五本一
組なのも特徴の一つです。シマリスやホシガラスが
好んで食べるので、食べかけの松ぼっくりを見つ
けたら彼等に出会えるかも知れません。

カラマツ 唐松 *Larix leptolepis* Gordon
カラマツ属 別名が「落葉松」でその名の通り秋
には紅葉して落葉します。礼文島のものはすべて植
樹したものでエゾヤチネズミの食害を防除するた
めにグイマツ杭松 *Larix gmelini* var. *japonica* Pilg. と
かけ合わせたグイマツF1のようです。

モンタナマツ *Pinus parviflora* Sieb. et Zucc.
マツ属 葉が2枚一束なのが特徴、香深井の緑が
丘キャンプ場に植栽されています。

レブングル自然館を発行しはじめて今年で9年目
にも関わらず、今年は私が不精をしてしまいこれが
3号目という腑甲斐無さです。今号から気持ちを引き
締めて発行を続けますので、ご容赦下さい。

10月の自然日誌

1日 晴れ時々雨/18.0/12.0℃・紅葉奇麗
・イブキジャコウソウ花/キジムシロ花/ミヤマカケス
2日 雨/波高い12.5/11.6℃/キクイタダキ保護-大備古川
・利尻初冠雪-沓形小杉(礼文からは雲で見えない)
3日 晴れ時々雨/13.4/10.7℃・利尻6合目まで雪
4日 利尻島晴れ・ウグイス死体拾う/大備礼文荘
5日 雷雨のち晴れ/9~17℃
6日 雨のち晴れ/15.4/20.3℃・桃展風が強い
・桃展(シロハラ/ツグミ/アオジ/キセキレイ)
7日 曇時々晴れ時々雨/15.7℃
・白鳥5羽-久種湖長尾)・ユリカモメ3羽-久種湖鹿川
8日 曇時々雨/暗い一日/16.5℃・利尻見えない。
・久種湖(白鳥9羽/マガモ/コガモ他)-鹿川
・チカが上泊港に来ている-鹿川
・須古頓漁り火多数・夕方から雨/強雨
9日 曇りのち晴れ/18.5℃/久種湖紅葉が奇麗
・ウスゲヒロハノキ/ウダイカンバ確認
・オグルマ開花/ハネナガキリギリス産卵
・ミヤマホオジロ/キンクロハジロ/マガモ
・タシギ/ミツユビカモメ水浴びしている/
10日 曇時々雨晴れ/13.8/10.4℃/利尻の雪が消えた
11日 雨時々晴れ晩雨/8.9/12.0℃/利尻見えない。
・コブミノカヤタケ-うのず
12日 雨時々晴れ寒い6.3/9.2℃・利尻6合目まで雪
・アトリ群/ツグミ/シメ/入舟大野・入舟(シロハラ)
13日 晴れ9.0/10.6℃・利尻山頂見えた
・久種湖(シラカバ確認)・オオワシ若1/
・上泊坂(オニタピラコ初確認)・晩雨
14日 曇後晴れ雨/13.5/8.0℃/タヒバリ群
・差開から知床の海岸にウミネコ多数/香深港にヒメウ
・シロハラ死体/内路松田絹代
15日 晴れ暖かい/9.0/14.7℃・利尻見える/晩雨
16日 雨晴れ時々雨/8/11.5℃西風強く寒い
・ベンサシロープ外し(レブソウ/ウスユキソウ)
17日 晴れ/9.6/5.7℃・利尻クッキリ
・ヤツガシラ-知床/松岡
18日 晴れ/8.9℃/利尻クッキリ・ユキホオジロ-桃展
・久種湖(ヨシガモ/ヒドリガモ/ミコアイサ)・晩雨
19日 晴れのち曇/14.3/16.1℃・香深井(オニナラタケ)
・オオカメノキ初確認・晩雨
20日 雨のち一時晴れ/14.6/10.5℃・晩雨/雹
21日 雨寒い時々晴れ/5.8/6.8℃/利礼航路午後欠航/晩雨
22日 晴れ/7.5/12.3℃・林道キジバト/マヒワ群/夕方雨
23日 雨のち曇り/6.9/7.6℃
24日 (月) 晴れ/7.5℃・利尻くっきり/午後から曇り後雨
25日 (火) 稚内晴れ/13.6/13.4℃
・久種湖(コハクチョウ3/ユリカモメ/カワアイサ)
・五番地(ミツユビカモメ多数)鹿川
26日 晴れ/11.1/10.5℃・利尻くっきり
27日 晴れ/7.5/12.7℃・利尻くっきり日の出
・利尻航路ミツユビカモメ多数/ハシブトウミガラス)

保護した鳥、拾った鳥の死体、珍しい魚や虫の情報、庭に咲いた花情報など連絡下さい、待っています。